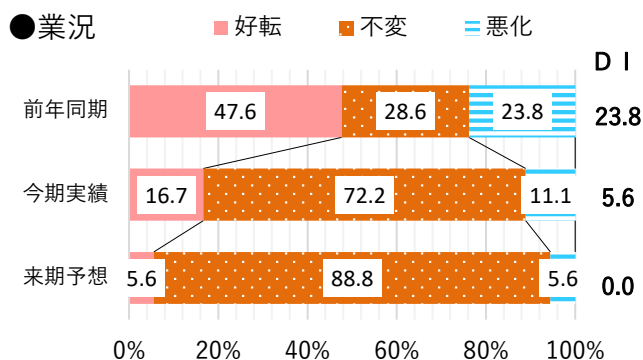


卸 売 業

業況、売上、採算

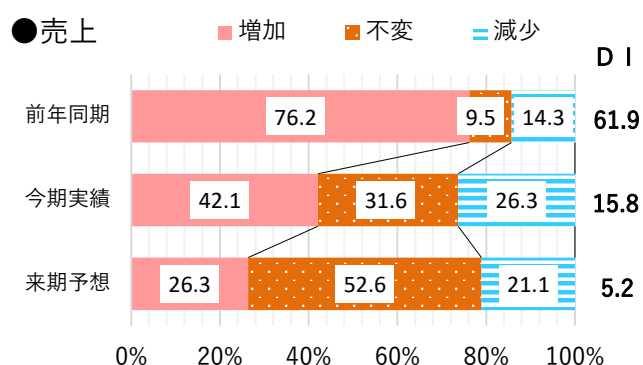
今期(2024.7~9)の業況判断DIは5.6で、前年同期(2023.7~9)と比べ18.2ポイントと低下しました。

来期(2024.10~12)は、業況に大きな変化はないと予想しています。



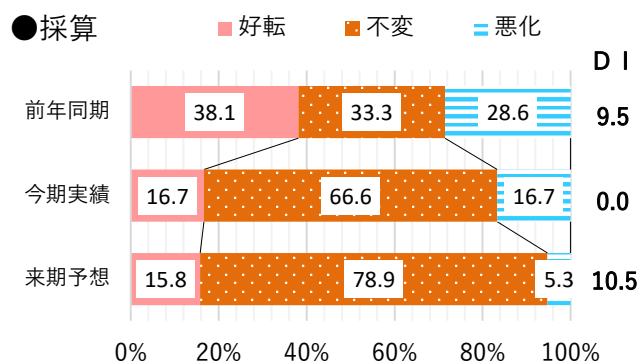
今期の売上DIは15.8で、前年同期と比べ46.1ポイントと大幅に低下しました。

来期は、売上の増加傾向が弱まると予想しています。

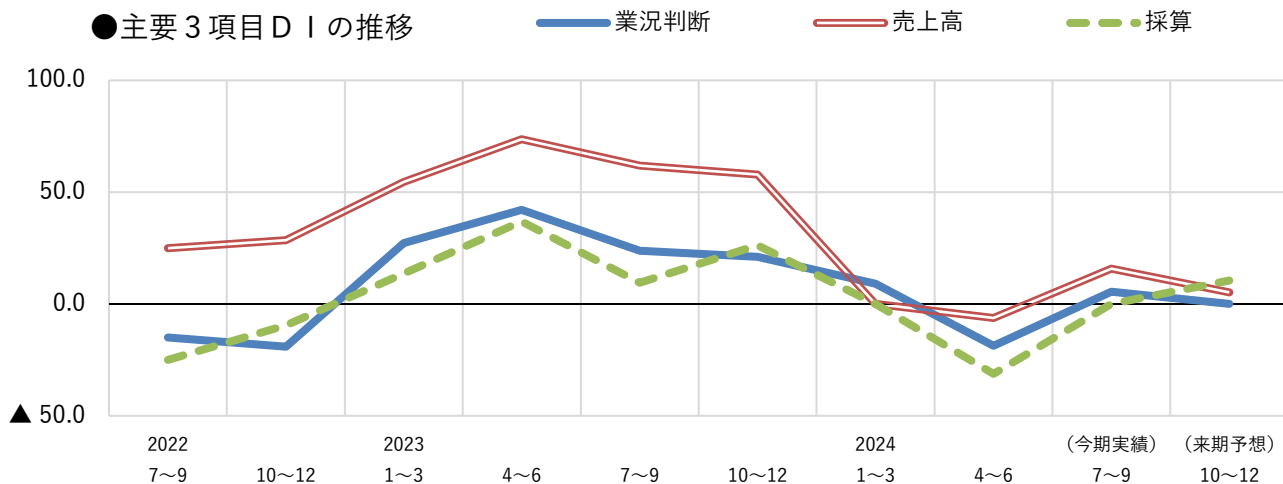


今期の採算DIは0.0で、前年同期と比べ9.5ポイント低下しました。

来期は、採算がプラスに転じると予想しています。



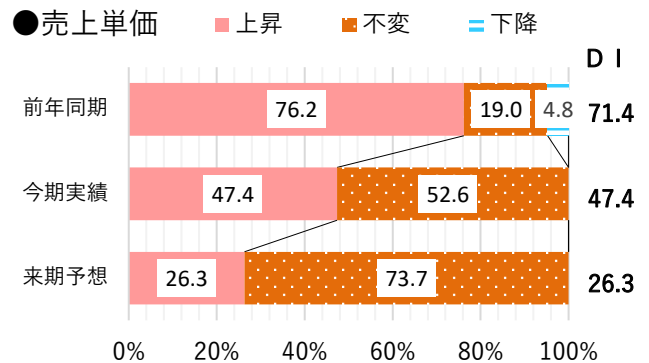
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

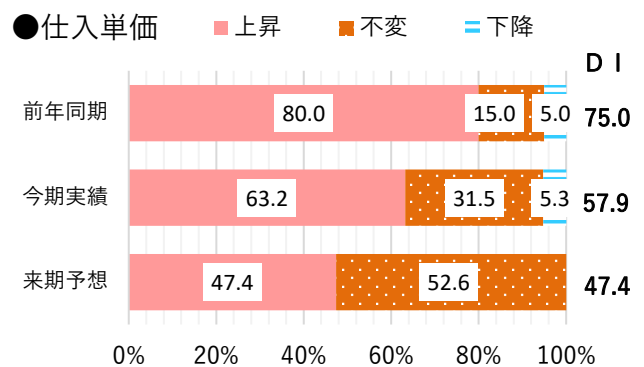
今期の売上単価DIは47.4で、前年同期と比べ24.0ポイント低下しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは57.9で、前年同期と比べ17.1ポイント低下しました。

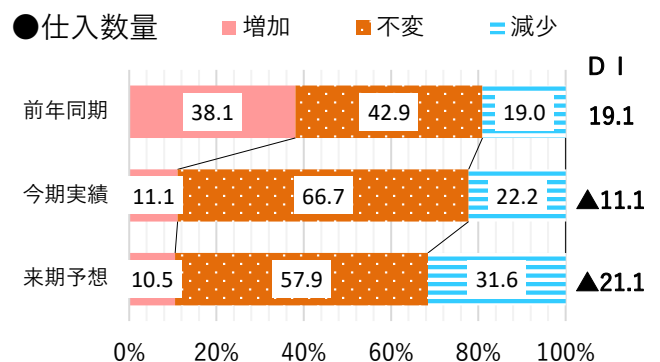
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

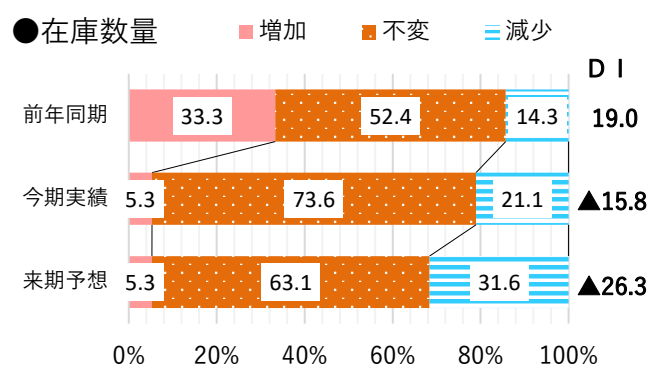
今期の仕入数量DIは▲11.1で、前年同期と比べ30.2ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期は、仕入数量の減少傾向が強まると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲15.8で、前年同期と比べ34.8ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

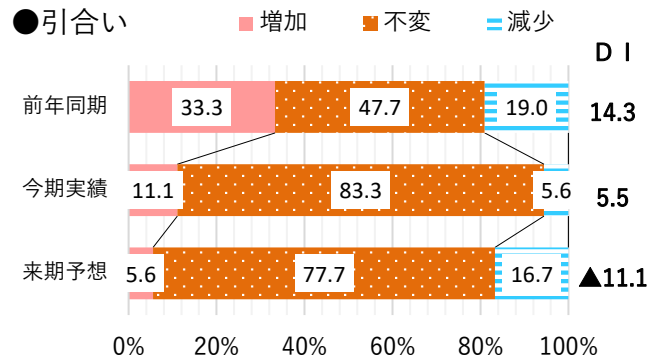
来期は、在庫数量の減少傾向が強まると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは5.5で、前年同期と比べ8.8ポイント低下しました。

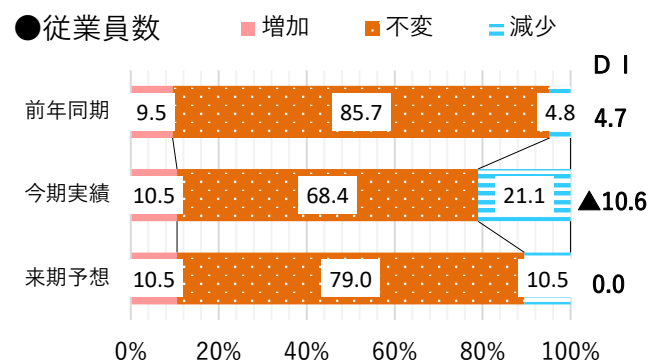
来期は、引合いがマイナスに転じると予想しています。



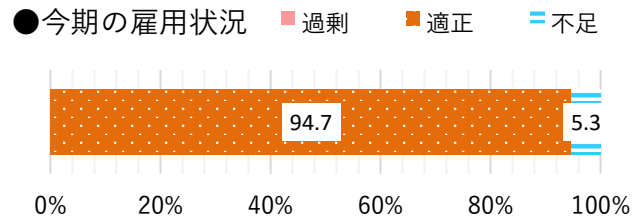
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲10.6で、前年同期と比べ15.3ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は94.7%、不足していると回答した企業の割合は5.3%でした。



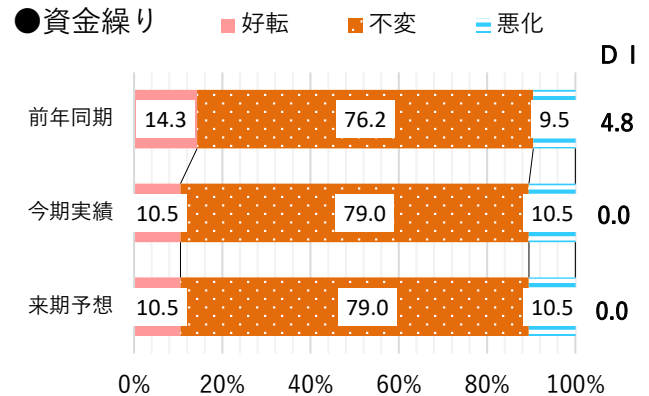
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の68.4%を占めており、不足と回答した企業は1社でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	2
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	13
	不足	0
減少した	過剰	0
	適正	3
	不足	1

資金繰り、設備投資

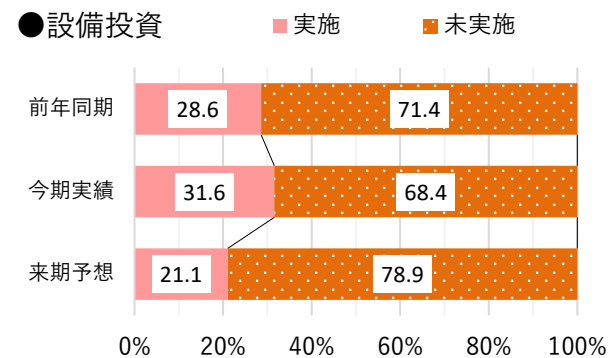
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期と比べ4.8ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの横ばいを予想しています。



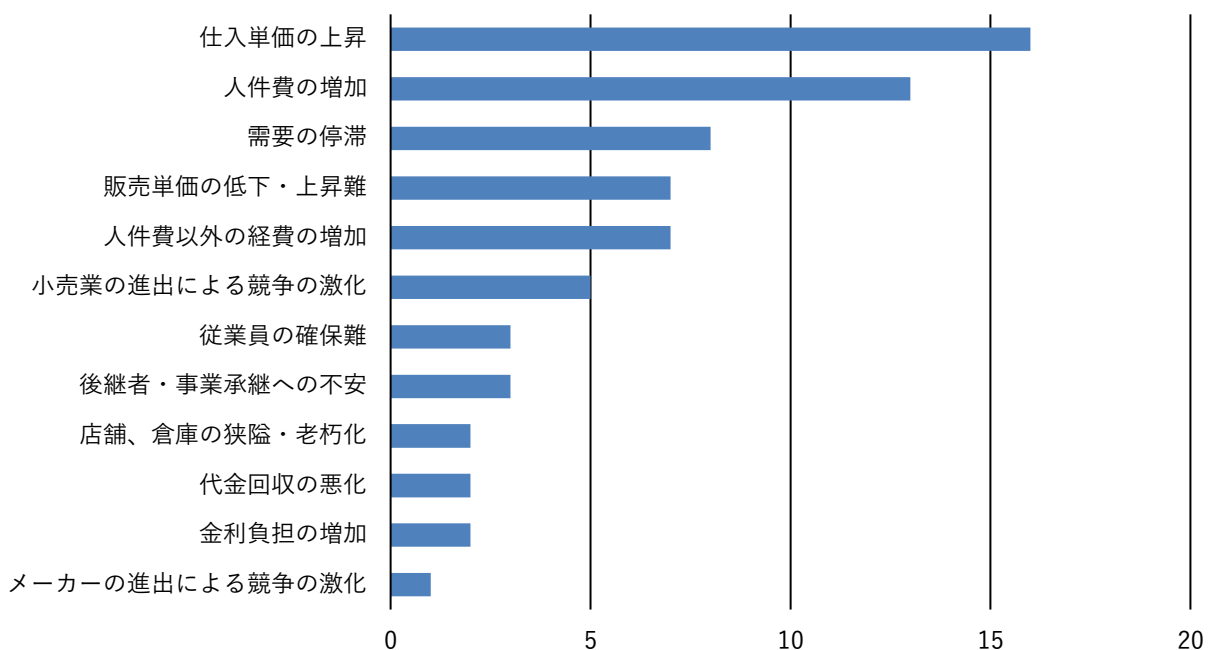
設備投資を実施した企業の割合は31.6%で、前年同期と比べ3.0%上昇しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は21.1%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「需要の停滞」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 仕入価格のみならず、全ての経費が上昇しており、売上を維持しても利益は薄くなる。需要も停滞気味で、一般工事が決まりにくい。（建築材料）
- 各資材の値上げにより、上半期の売上は去年より増加した。人材の確保が必要だ。（建設材料）
- 以前売れ行きが良かった商品の在庫がまだ残っており、今年の売上はなかなか上がらない。（包装資材）
- 仕入価格を価格転嫁できず苦戦している。冬の閑散期に向けて在庫は抑える。（鉱物・金属材料卸売）
- 仕入価格が上昇傾向にある。（食料・飲料）
- 商品仕入単価と運賃が上昇した。（自動車部品）
- 前年比で良くなっているが、利益水準はまだ低い。（石油）
- 売上が増加した。（事務用品）

[来期の業況について]

- 人件費の上昇や2024年問題等による運送コストの上昇、納期遅れがさらに深刻となる。（建築材料）
- 今期に引き続き、各資材の値上げによる売上の増加を見込む。人材の募集を続ける。（建設材料）
- 仕入単価が上昇し、どこまで転嫁できるか分からない。業況を維持できるよう努力する。（包装資材）
- 案件が少なく、来年の春以降まで期待出来ないと思われる。（鉱物・金属材料卸売）
- 今後も仕入価格の上昇が見込まれる。（食料・飲料）
- 物価高による値上げが予想されるため、商品の仕入れに注意する。災害が各地で続いているため、見通しが悪い。（自動車部品）
- 今期と同程度の売上を見込む。（事務用品）